

# 元 気



令和2年8月

東北文教大学附属幼稚園

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。今年度は、例年よりも二週間程短い夏休みとなりました。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、感染拡大地域への移動が懸念される中の夏休みでしたが、子ども達は、「おうちで給食に出たご飯を作ったよ!」「お庭で珍しい虫を見つけたよ!」等と、ご家族との楽しかった夏休みの思い出を教えてくださいました。夏休みの間も、ご家庭での感染症対策やその他の健康管理にご協力頂き、本当にありがとうございます。

8月以降も、全国的に新型コロナウイルス感染症の新規感染者が多数報告されており、さらに隣県においても各日数名の感染者が出ています。引き続き、「新しい生活様式」に基づいた生活を継続していきましょう。更に、まだ猛暑日が続くと予想されますので、適宜マスクを外すことや、換気をしながらのエアコン使用等、熱中症予防も視野に入れた感染症対策をお願い致します。

なお、幼稚園では、プール遊びが始まって以降、毎日熱中症指数を測定しています。「**嚴重警戒**」とされる**28℃を超える場合はプール遊びや戸外遊び、運動会ごっこ等を見合わせる必要がありますので、ご了承ください。**

それ以外にも、こまめに水分補給を行うなど、今後も熱中症・感染症対策に注意をしていきたいと思っております。

## 溶連菌咽頭炎について

今は暑いですが、今後季節の変わり目になると、日中は暑く、夜は大きく気温が下がり、一日の気温差が大きい時期になります。夏の疲れが出やすい時期にもなり、身体の免疫力が低下して風邪をはじめとした感染症にかかりやすくなります。溶連菌咽頭炎も、「秋冬にかかる」というイメージがありますが、免疫力が低下した状態だと夏場でもかかることがあり、特に3歳から小学生の子どもに多い感染症です。

予防対策に加え、栄養と休息を十分にとって、各種感染症に負けないよう気を付けていきましょう。

❁病原菌…A群溶血性レンサ球菌

❁潜伏期…2～5日

❁感染経路…飛沫感染（感染者の唾液や鼻水などにウイルスが含まれ、それを摂取することで感染します）  
タオルや食器を介して感染する場合があります。

❁症状…2～5日の潜伏期を経て発熱し、喉の痛みが出現します。その2日後くらいに体や手足に小さく赤い発疹が出現し、喉や舌、口腔内に赤い発疹（イチゴ舌）等が見られます。徐々にお腹等にも発疹やかゆみが出てきます。回復してくると体の発疹はカサカサになり剥がれていきます。これらは子ども特有の症状で、大人の場合は出ない事が多い症状です。

「イチゴ舌」は、舌の表面のザラザラとした部分に赤いブツブツができ、まるでイチゴのように見える状態です。



かゆみをともなう小さな発疹が全身に広がり、さらに顔や手が赤くなって腫れる事もあります。

❁治療…抗菌薬を10～14日間内服する事が一般的です。

❁予防…手洗い・うがい等の基本的な感染症対策をしっかりと行う事が大切です。

❁出席停止…抗菌薬を内服後48時間が経過するまで出席停止となり、お休みになります。